

市立学校児童生徒の
保護者様

かわさきしきょういくいんかい
川崎市教育委員会

ひとり だいぶん たんまつどうにゆうおよ りよう 1人1台分のコンピュータ端末導入及びクラウド利用について

日頃から川崎市の教育活動に格別の御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

令和元年12月に文部科学省から「GIGAスクール構想」として「子どもたちの未来を見据え、1人1台分のコンピュータ端末と高速大容量の通信ネットワーク（無線LAN）を一体的に整備して教育に活用する取組」が打ち出されました。今や、コンピュータ端末は、仕事でも家庭でもその活用が日常となっており、これからの社会を生きる子どもたちにとっても、鉛筆やノートと並ぶ学習用具となっていくます。こうしたことから、川崎市においても、市立学校に無線LANを整備し、義務教育課程の子どもたち1人1台分のコンピュータ端末（以下「GIGA端末」とします。）を各学校に導入いたしました。

GIGAスクール構想の実現において、文部科学省では「クラウド」活用を前提として、令和時代のスタンダードな学校環境としています。「クラウド」とは、コンピュータ端末にソフトウェアをインストールしなくても、必要なときに利用できる安全に管理されたインターネット上のサービスです。川崎市におきましては、Google社が提供しているクラウドサービス「Google Workspace for Education」(*1)と、ベネッセコーポレーションの学習ツール「ミライシード」(*2)などを組み合わせて活用しており、インターネットにつながる環境とGIGA端末があれば、学校以外からでもそれらを利用することができます。なお、クラウドに保存する情報には、子どもたちの氏名や学習履歴等も含まれるため（成績は含まれません）、「個人情報保護法」及び「川崎市学校情報セキュリティ対策基準」、その他関連法令に基づき、情報セキュリティに配慮しながら個人情報を適切に取り扱っていきます。

川崎市では、子どもたち1人につき1台のGIGA端末と学習専用のアカウント（IDとパスワード）を在学期間中に貸与しております。授業で活用する際には情報モラルについて引き続き指導するとともに、学習指導要領に学習の基盤として示されている「情報活用能力」の育成にも力を入れていきます。さらに、「かわさきGIGAスクール構想」の取組を通して、子どもたち1人ひとりの学びや生活の足跡となる情報を活用しながら教育活動のさらなる充実に努めてまいりますので、今後とも御理解、御協力の程よろしくお願いいたします。

*1 Google合同会社 「Google Workspace for Education利用規約」

https://workspace.google.co.jp/intl/ja/terms/education_terms.html

*2 株式会社ベネッセコーポレーション「ミライシード利用規約」

<https://www.teacher.ne.jp/miraisseed/terms/miraisseedterms.pdf>

(担当) 川崎市総合教育センター
情報・視聴覚センター